

4月17日 - 21日 私は事務機器で有名な日系の顧客様からご用命頂き、ハノーバーメッセのブースアテンドをさせて頂きました。今回はハノーバーメッセの概略と、コロナ災禍前と後の様相についてご報告いたします。

ハノーバーメッセはその名前の通り、ハノーバーで開催されます。メッセ会場の名前がハノーバーメッセ、毎年4月に開催されるメッセの名称もハノーバーメッセです。人口50万人程で観光資源の乏しい都市ですが、モノづくりに関連する仕事に携わる人にとって、ハノーバーメッセを知らない方は居ないと思います。



自動車関連、エレクトロニクス関連では同じ名称のメッセが中国やインドで開催されていますが、ハノーバーというドイツの都市名が冠された、ドイツの産業そのものをテーマとするメッセは今後もハノーバー以外での開催は有り得ません。ドイツ産業にとっての重要性は毎年開催初日のオープニングにドイツ首相が駆けつけることが何よりの証左です。

また毎年パートナー国からも国家元首、首相クラスが来訪します。2016年にはオバマ大統領が、そして今年はインドネシアの首相が訪問されました。ドイツが官民総出で産業・貿易振興に力を注いでいること、その為のハノーバーメッセの重要性が良く判ります。



オバマ大統領とメルケル首相 2016年 ショルツ首相とジョコ大統領 2023年

1947年、日本同様、戦争で国土が焼野原となったドイツにおいて、破壊を免れた工場では細やかな展示会が開かれたことがルーツです。テーマは当時差し迫った食料事情を反映して魚サンドイッチだったそうです。70年の歴史を経て、ドイツの産業を世界に紹介するメッセとしての名声を獲得します。毎年パートナー国が選定され、日本は2008年、今年にはインドネシアでした。

世界50カ国から4000社以上の出展企業が一堂に会し、最新の産業技術や製品、ソリューション

ンを披露します。2023年日本企業及び日系企業は44社が出展したようです。

以上の経緯からメッセの出展テーマはドイツ産業・工業そのものと言えるのですが、これも日本同様輸出入貿易が産業振興の大前提であり、必然的にEU諸国はもちろん全世界からの出展社、訪問者を惹きつけることになりました。会場規模はギネスブック認定の世界最大の単独展示ホール一号館を含めて27ホール、展示面積約50万㎡、東京ビックサイト11万5千㎡、幕張メッセ7万2千㎡と比較すればその規模の大きさがご理解頂けると思います。

コロナ禍直前、2019年から2023年までの出展者、来場者は以下の通りです。

	出展者	来場者
2019年	6500	215000
2020年	中止	
2021年	デジタル開催	
2022年	2500	75000
2023年	4000	130000

アポなしの所謂飛び込み営業、電話による営業が禁止されているドイツでは顧客獲得の機会はメッセ出展に限定されています。上記の数値はドイツで開催されている他のメッセ、我々が出展してきたCommpamedなどにおいても同じ傾向を示しています。

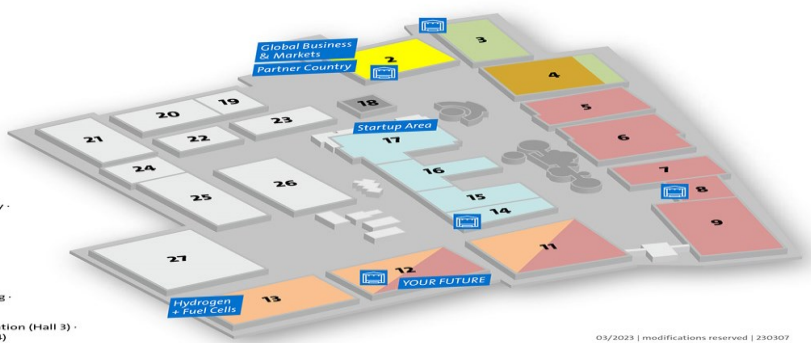
出展者で60%、来場者で50%強まで回復という現状ですが、コロナ発生前の数字に戻るにはまだ数年かかると思います。ただ、その一方で、来場者の質の向上は出展者の誰もが感じていると思います。ブース訪問者、名刺交換の数がコロナ前の半分だとしても、成約の可能性の高い訪問者の比率が高まったというのが、コロナ災禍以降に再開されたメッセ訪問者に対する印象です。メッセ訪問が本当に必要な訪問者だけが来場する、コロナ後の変化はこれに尽きると思います。

2023年度のブース使用状況を観てみましょう。コロナ災禍前、2019年までは19から27までを含めた全ホール、屋外スペースを利用したのEV車試走コースなども含めて会場すべてを使用する規模でしたが、ご覧の通り、2023年は18ホールまでを使用しました。

HANNOVER MESSE

17 – 21 APRIL 2023

- Hall 2:** Future of Work - Research & Development - Trade & Invest
- Halls 3-4:** Lightweight Design - Metal Parts, Components & Solutions - Plastics & Innovative Materials
- Hall 4:** Compressed Air & Vacuum
- Halls 5-9/11-12:** Automation & Sensor Technology - Carbon-neutral Production - Digital Industries Full Solution Providers - Drive Technology - Fluid Power - Handling & Assembly - Industrial Internet - Linear Technology - Logistics Automation - Process Automation - Robotics
- Halls 11-13:** Carbon-neutral Production - Digital Energy - E-Mobility & Charging Infrastructure - Energy Efficiency - Energy Management - Hydrogen & Fuel Cells
- Halls 14-17:** Additive Manufacturing - Cloud & Infrastructure - Digital Platforms - Engineering - & Office-Software - IT Consulting - IT Security - Logistics IT - Wireless & 5G Technology
- Conference Stages:** Tech Transfer (Hall 2) - Industrial Transformation (Hall 3) - Industrie 4.0 (Hall 8) - Energy 4.0 (Hall 12) - Wireless & 5G (Hall 14)



03/2023 | modifications reserved | 230307

公式ウェブサイトでは2023年のメッセ開催に際して以下の5つのテーマが挙げられています。いずれもドイツ産業のみならず、今後の産業発展に不可欠なテーマだと思います。今回はタイトルの提示までに留め、また別の機会に考えて行きたいと思います。

1. AIの進化と自己学習するプログラム
2. エネルギーマネジメント
3. カーボンニュートラルの将来
4. インダストリ 4.0
5. 水素、燃料電池等次世代のエネルギー